# 実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

| | |
|---|---|
| 助成年度 | 令和 7 年度 |
| 助成団体 | 一般社団法人愛知県ティーボール連盟 |
| 事業細目名 | スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ） |
| 事業名 | 第 21 回愛知県ティーボール大会（アジア国際交流事業） |
| 助成金額 | 991,000 円 |

令和 7 年度スポーツ団体スポーツ活動助成を受け、一般社団法人愛知県ティーボール連盟が行っている「第 21 回愛知県ティーボール大会（アジア国際交流事業）」の実施状況について調査を行いました。本大会は、愛知県内で募られた小学生のティーボールチーム 4 チームが韓国・台湾のチームと競い合い、競技力の向上を図るとともに、ティーボールを通じて交流を深め、子どもたちの心身の健全な育成を図ることが目的とされています。

本年度は小学 5・6 年生のチームが大会に参加しており、調査当日は天候にも恵まれ、各国の子どもたちの元気な声が響いていました。日本ティーボール協会の公認指導者は「ティーボール・ティーチャー」と呼ばれ、審判員であり指導者であることが求められますが、大会当日は、県内の大学の野球部員が審判員を務め、積極的に子どもたちに声をかける姿が見られました。

選手、スタッフ、観戦者それぞれの声が球場全体に響き、大きな盛り上がりを見せていました。

■助成の意義

本大会は、国を越えた子どもたちとの交流が大きな目的のひとつですが、大会期間中の海外チームの滞在費は連盟が負担することとしており、予算の確保状況によっては規模を縮小する場合があるとのことです。しかし、今回助成を受けたことで、参加国数を絞るといった規模縮小をせずに開催することができ、子どもたちの国際交流の機会をより広い形で創出することができました。

■事業効果を高めるための取り組み

開催地である愛・地球博記念公園野球場は、大人用 1 面、小人用 2 面の計 3 面整備されており、周囲が緑で囲まれた開放的な空間で競技を楽しむことができる非常に充実した野球場です。都市部の野球場とはまた違った魅力溢れる野球場で伸び伸びとティーボールを楽しむことができる本大会は、愛知県のクラブチームにとって貴重な体験の機会と言えます。

本大会の周知は主に連盟のＳＮＳで行われており、大会中もリアルタイムで試合の様子を発信することで、現地での熱戦の様子をより早く、より広く伝えることができており、天候不良時の会場変更等の周知対応にも備えることができているそうです。

また、大会終了後には、アンケートフォームを各クラブチームに発信し、次回大会に向けた意見・要望や感想の収集を行っているそうです。

■所感

いつでも・どこでも・誰でも出来ることが魅力であるティーボールは、男女問わず、子どもたちがスポーツに触れるきっかけとして非常に大きな役割を果たしていると感じられました。

ティーボールは野球の導入スポーツとしての位置づけもありますが、連盟としては、子どもたちが年齢を重ねる中で野球以外の道へ進んだとしても、ティーボールを通して得た経験があらゆるスポーツを続けていく上で下支えとなることを願っているとのことでした。

また、当日審判員や運営補助を務めた大学生の姿から、彼らが競技を始めた頃に周囲の方に支えられた経験が次世代に還元されているように感じられました。

今後も、本大会が子どもたちの健全育成やスポーツを通した国際交流に寄与するとともに、地域におけるスポーツの振興・普及につながることを期待しています。

（令和 7 年 11 月 2 日往査）

（写真）第 21 回愛知県ティーボール大会（アジア国際交流事業）の様子



